

柿田川周辺エリア(柿田川、丸池、本城山)

1. 目指すべき景観像

日本一の湧水量、美しい自然景観を誇る 柿田川  
水面に逆さ富士が映り、水と親しむことができる 丸池  
360度のパノラマを楽しむことができる 本城山



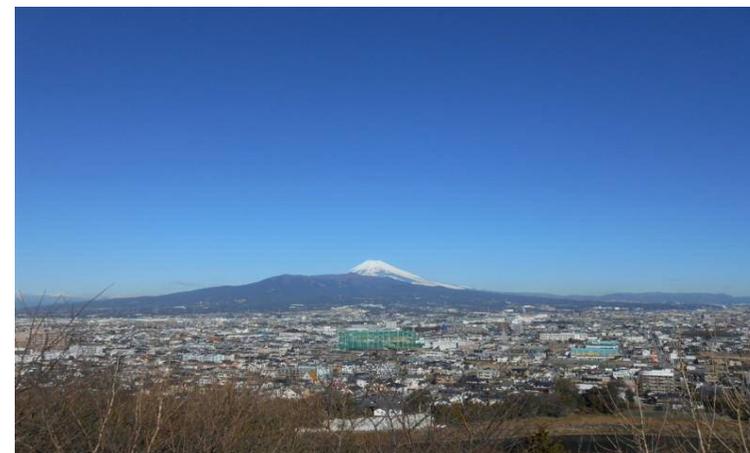
柿田川からの富士山眺望



柿田川の湧水



丸池の水面に映る逆さ富士



本城山からの眺望

## 2. 地域特性及び景観形成の方向性

対象地となっている3地点は、その成り立ちからジオポイントともなっています。清水町は伊豆半島の北部に位置しており、伊豆半島は唯一フィリピン海プレートの上に位置しています。約2,000万年前には、現在の位置より数百km南にある火山群でしたが、プレートの移動により約60万年前に本州と衝突し、伊豆半島となりました。地殻変動・火山活動が続き、独特の美しい自然環境が生み出されました。柿田川と丸池は、伊豆半島の衝突によりできたとされている富士山の噴火により噴出した溶岩流の中を流れた湧水により形成され、本城山はその地質から、伊豆半島が海底火山だったころのなごりとされています。それぞれの地域特性及び景観形成の方向性について下記のとおり整理します。

### 柿田川

約8,500年前の富士山噴火により噴出した溶岩(三島溶岩流)の中を流れてきた地下水のみで形成されており、日本一の湧水量を体感できます。水域は、大小多数が存在する湧き間などの水中の景観、ミシマバイカモをはじめとした貴重な水草に覆われた景観、安定した水環境に育まれる多くの動植物が生息する景観があり、陸域には、ムクノキやエノキ、ケヤキ、クヌギ等で構成される河畔林の豊かなみどりの景観があります。環境庁の名水100選(S60)、文化庁の天然記念物(H23)に指定されています。

住民主体の活動により自然環境の保全が図られていますが、清水町を象徴する柿田川の景観を守るため、今後も地域一体となって多くの人に広く啓発を図る必要があります。護岸や工作物等の維持管理にあたっては、貴重な生態系や湧水の保全に努めるとともに、柿田川や周辺のみどり等との調和に配慮し、公園内の施設については、柿田川の美しさを引き立てるものとなるよう配慮する必要があります。

#### <景観形成上の課題>

- ・自然景観の魅力を低下させている人工物の改善
- ・自然環境の保全意識の啓発

## 丸池

柿田川と同様、三島溶岩流の中を流れてきた湧水により形成されている池であり、農業用水の水源として利用されていますが、池の周りには散策道も整備されており、桜並木や逆さ富士の映る美しい水面景観から、人々の憩いの場となっています。

富士山を借景とする水と一体となったうまいのある景観の保全を図るため、池水の常時確保を図るとともに、観光客や地域の人々が湧水に触れ合う機会を創出するため、農業機能と調和を図りつつ、水と親しむことのできる公園の整備を進める必要があります。

<景観形成上の課題>

・多くの人が湧水に触れ合うことのできる機会の維持及び創出 ・美しい水面景観の保全

## 本城山

柿田川と狩野川の合流点の南側に位置する山で、伊豆半島が海底火山だったころのなごりであり、公園として、ハイキングコースが整備されています。

戦国時代には川に囲まれ眺望が良かったことから、戸倉城という城が築かれていました。現在は山頂に展望台が設置されており、三島～柿田川の湧水群を造りだした扇状地、そこにできた街の景観が一望できます。

市街地のランドマークであり、身近な樹林地景観として保全を図る必要があります。また、市街地を一望できる町民のレクリエーション拠点としての活用が求められており、地域における中心的な公園として、四季折々に変化する自然、遺跡や城跡等の歴史を活かした整備を行う必要があります。

<景観形成上の課題>

・展望台からの眺望の維持 ・樹林地景観の保全

### 3. 対象エリア



4. 景観目標と景観づくり方針

地域特性や景観形成の方向性から、改めて目指すべき景観像と景観目標を整理します。

日本一の湧水量、美しい自然景観を誇る 柿田川  
水面に逆さ富士が映り、水と親しむことができる 丸池  
360度のパノラマを楽しむことができる 本城山

目標1

美しい自然景観を将来に  
継承する景観づくり

景観づくり方針

自然の保全活動や周辺施  
設の景観への配慮を促し  
ます

目標2

貴重な自然景観を満喫  
できる景観づくり

景観づくり方針

自然に触れる機会の創出  
や眺望点の確保を行いま  
す

目標1

美しい自然景観を将来に継承する景観づくり

取組

短期	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修景に関するミーティング開催の検討</li> <li>・自然景観に重点を置いた環境教育の場の創出</li> </ul>
	柿田川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の清掃や富士山植樹の継続</li> <li>・景観に配慮した施設整備、設置物等の配置</li> </ul>
	丸池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に配慮した施設整備、設置物等の配置</li> </ul>
	本城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に配慮した施設整備、設置物等の配置</li> </ul>
中長期	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修景に関するミーティング開催の検討</li> <li>・本来の魅力の検討</li> </ul>
	柿田川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に対する保全意識の啓発のための環境教育やイベント開催</li> <li>・国指定天然記念物柿田川に対する理解を深めるための機会の検討</li> </ul>
	丸池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池水の常時確保</li> </ul>
	本城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林地景観の保全</li> </ul>

目標2

貴重な自然景観を満喫できる景観づくり

取組

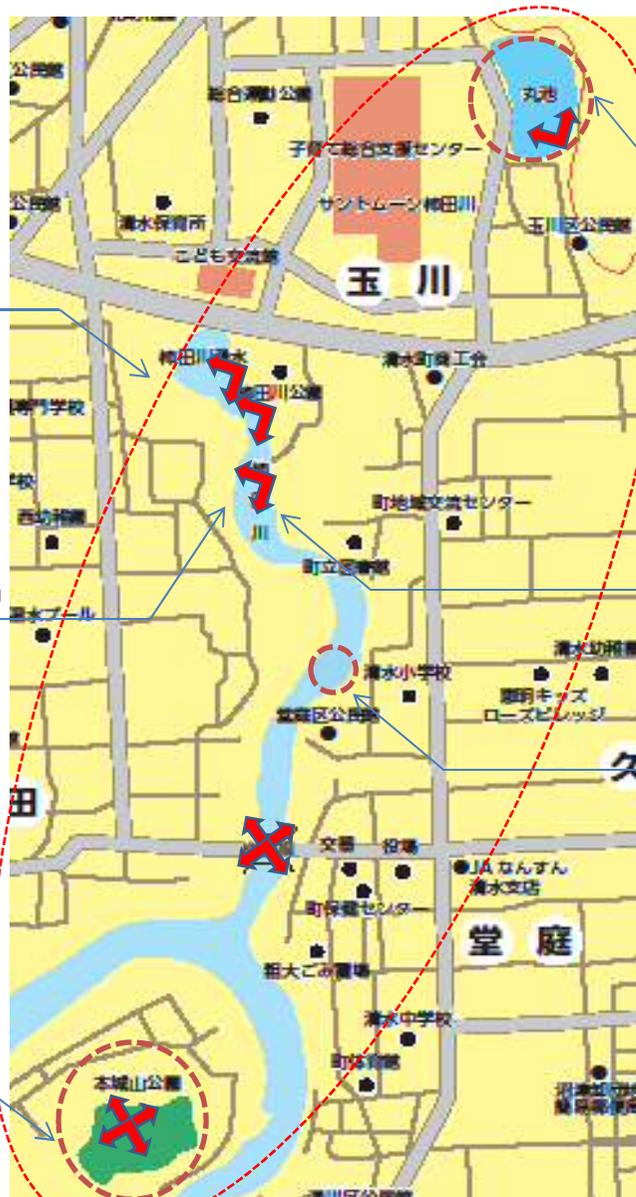
		取組
短期	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修景に関するミーティング開催の検討</li> <li>・自然景観に重点を置いた環境教育の場の創出</li> </ul>
	柿田川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな眺望点の発掘</li> <li>・広場の彩の創出</li> </ul>
	丸池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい水面景観の保全</li> <li>・多くの人が湧水に触れ合うことのできる機会の維持、創出</li> </ul>
	本城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山や市街地を一望できる眺望の確保</li> </ul>
中長期	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修景に関するミーティング開催の検討</li> <li>・3地点の周遊性の確保に向けた検討</li> <li>・全体でのデザイン等の統一感の創出</li> <li>・わかりやすいアクセス看板の設置の検討</li> </ul>
	柿田川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湧水の量や美しさを体感できる機会の創出</li> <li>・教材園の一般解放の検討</li> </ul>
	丸池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の公園化</li> <li>・多くの人が湧水に触れ合うことのできる機会の維持、創出</li> </ul>
	本城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地を一望できる町民のレクリエーション拠点としての活用</li> </ul>

# 6. 景観施策のイメージ図

全体でのデザイン等の統一感の創出  
 3地点の周遊性の確保に向けた検討  
 わかりやすいアクセス看板の設置検討  
 修景に関するミーティング開催の検討

周辺の清掃や富士山植樹の継続  
 国指定天然記念物柿田川に対する理解を深める機会の検討  
 湧水の量や美しさを体感できる機会の創出

樹林地景観の保全  
 富士山や市街地を一望できる眺望の確保  
 町民のレクリエーション拠点としての活用



池水の常時確保  
 美しい水面景観の保全  
 周辺の公園化  
 多くの人が湧水に触れ合うことのできる  
 機会の維持、創出

自然環境に対する保全意識啓発の  
 ための環境教育やイベント開催  
 新たな眺望点の発掘  
 広場の彩の創出

教材園の一般解放の検討

全体

本来の魅力の検討  
 景観に配慮した施設整備、設  
 置物等の配置  
 自然景観に重点を置いた環境  
 教育の場の創出

眺望点 